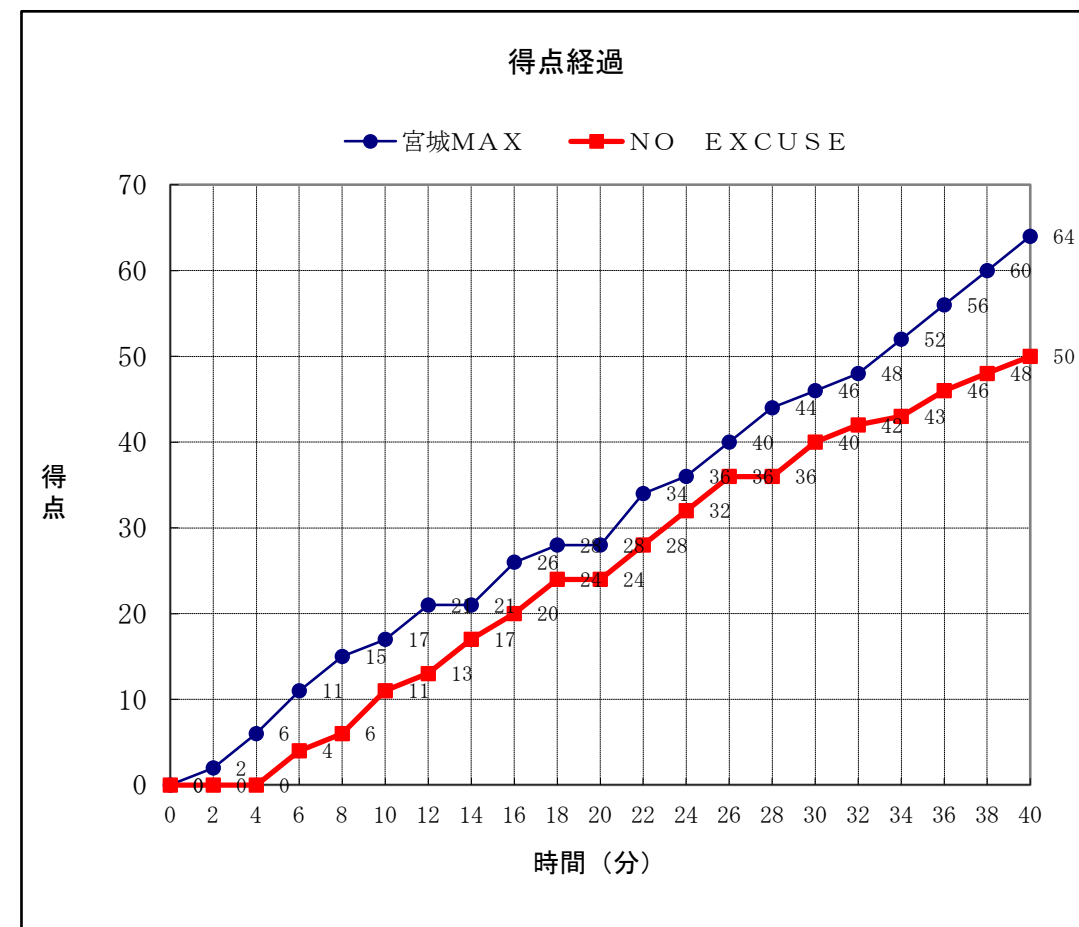


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪  
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2012年5月4日 14時20分開始										2012年5月4日 14時20分開始									
決勝										東京体育館 M - 10									
◎ 宮城MAX (東北) 64										50 NO EXCUSE (東京)									
17 1クォーター 11										11 1クォーター 11									
11 2クォーター 13										13 2クォーター 13									
18 3クォーター 16										16 3クォーター 16									
18 4クォーター 10										10 4クォーター 10									
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則		
4	豊島 英 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0	* 4	安 直樹 (4.0)	22	0	10	2	-	-	3		
* 5	藤本 怜央 (4.5)	25	0	10	5	-	-	3	5	佐藤 大輔 (2.0)	0	0	0	0	-	-	2		
* 6	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2	* 6	石井 康二 (2.5)	4	0	2	0	-	-	3		
7	五十嵐 雄也 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	7	寺田 正晴 (3.0)	2	0	1	0	-	-	1		
8	佐藤 聡 (1.0)	0	0	0	0	-	-	9	* 8	大嶋 義昭 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2		
* 9	増渕 倫巳 (3.0)	7	0	3	1	-	-	1	9	大曾根 佳太 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-		
* 10	中澤 正人 (4.0)	22	0	11	0	-	-	3	10	菊池 隆朗 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-		
11	加藤 芳博 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 11	森 紀之 (1.5)	10	0	4	2	-	-	3		
12	大槻 智志 (4.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 12	菅澤 隆雄 (4.5)	11	0	5	1	-	-	2		
13	高橋 浩則 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	13	湯浅 剛 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-		
14	向後 寄夫 (1.5)	0	0	0	0	-	-	1	14	田仲 幸生 (1.5)	1	0	0	1	-	-	1		
* 15	藤井 新悟 (1.5)	8	0	4	0	-	-	2	15	田中 聖一 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-		
16	菅原 志朗 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	16	池田 貴啓 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-		
0		-	-	-	-	-	-	-	17	及川 晋平 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-		
0		-	-	-	-	-	-	-	18	西岡 尚輝 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-		
HC	岩佐 義明								HC	及川 晋平									
AC	石川 大介								AC	宮本 有里恵									
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	杉山 美穂									
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	相川 恵里									
マネージャー	会田 優								マネージャー	反町 真理子									
トレーナー	岩佐 康太								トレーナー	山下 正信									
合計		64	0	29	6	0	0	21	合計		50	0	22	6	0	0	17		
主審： 杉山 兼良 副審： 門川 浩人 副審： 岸 良太郎																			



〔戦評〕  
1Q NO EXCUSE #12と宮城MAX #5のタップオフにより、宮城からのボールで試合が始まる。#15藤井のカットインにより、宮城が先制点をとる。宮城が続けてインサイドを決め、6-0でリードする。NO EXCUSEはミドルシュートを打つがなかなか得点に繋がらず6点宮城が先取したところで、1回目のタイムアウトをとる。ラスト5分となったところで、NO EXCUSEの#4安がミスマッチからのミドルシュートを決めようやく1本。宮城#15のカットイン、#5藤本のシュートにより得点、NO EXCUSEは苦しいディフェンスを強いられるが、#11のミドルシュート・#4のインサイドシュートとミドルシュート・フリースローが連続して決まり、次第にNO EXCUSEの流れとなる。ラスト30秒で4点差。宮城はパスミスが目立ち始めるが、#11のミドルシュートが決まり点差が再び広がったところで1ピリオド終了となる。

2Q NO EXCUSEからのボールでスタートするが、攻守交替で宮城が再び先制点をとる。NO EXCUSE #12のインサイド、#11のミドルシュートが決まり徐々に点差が縮まりだす。しかし、宮城の#9のミドルシュートが決まり再び点差が開いたところでNO EXCUSEのタイムアウトとなる。NO EXCUSEは苦しいディフェンスからファウルが増え始め、チームファウルが5つとなった。宮城#5がフリースローを決め、NO EXCUSEは苦しい展開。ラスト3分22秒のところ、NO EXCUSEは#5と#7が出場しアウトナンバーを活かしたプレーを狙う。宮城はイーギーミスが目立ち始め徐々にNO EXCUSEの流れとなる。ラスト30秒、NO EXCUSEが時間をつかったオフENSEをし、最後は#5が3ポイントシュートを狙うが入らず2ピリオドが終了となる。

3Q 宮城ボールからのスタート。#9がミドルシュートを決め、6点差。宮城がインサイドを決めだし、やや宮城の流れとなったところで、NO EXCUSEが絶妙なタイミングでタイムアウトをとる。試合再開後、NO EXCUSE #4のインサイド、#12のミドルシュートが連続して決まりNO EXCUSEの流れとなる。ラスト5分で2点まで点差が縮む。しかし、苦しいところで宮城がアウトナンバーからのシュートを決める。両者とも焦りからシュートが決まらない時間が続くが、宮城のインサイドが決まり再び点差が開く。宮城46、NO EXCUSE40で3ピリオドが終了。

4Q 宮城ボールからスタート。シュートチャンスあるも、両者ともなかなかシュートが決まらない。開始1分半のところ、宮城#5がのシュートが決まり10点差となる。NO EXCUSEはファウルが増え始め、#12のアンスポーツマンシップファウルにより、宮城#5がフリースローを決め、次第に宮城の流れとなる。NO EXCUSEはイーギーミスが重なり、なかなかシュートが入らない。点差が徐々に開き、14点差へ。ラスト28秒、NO EXCUSE #4がバックシュートを決め粘るが、ラストは宮城がパス回しで時間を使い、ショットクロックラスト1秒のところミドルシュートを決め、試合終了となる。

(担当：松木/山/小林)